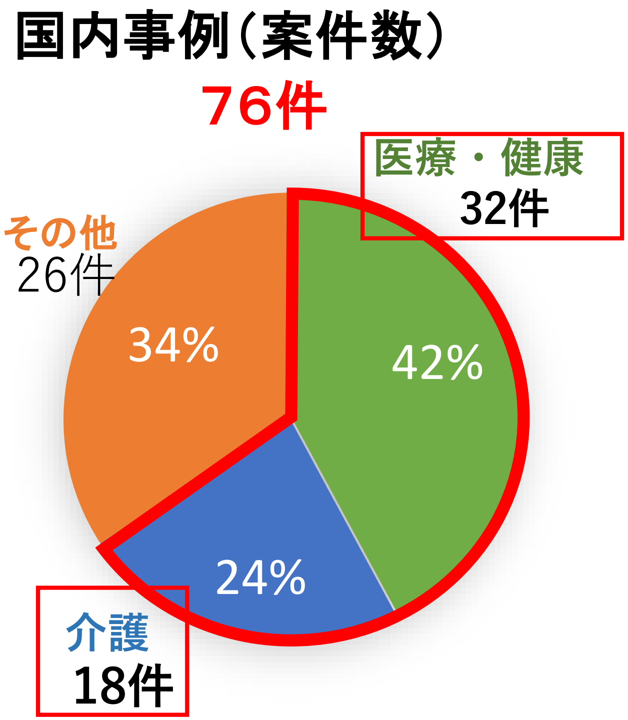
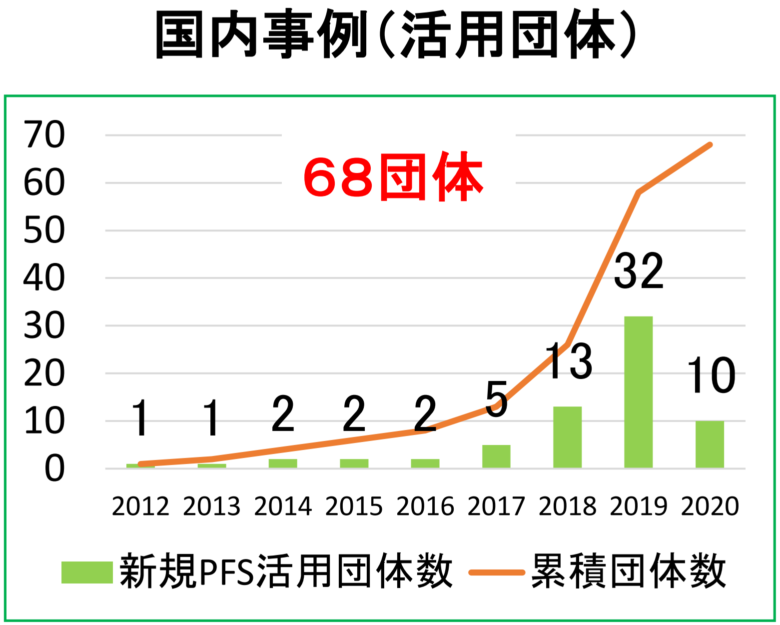
PFSの現状

国内の状況（令和２年度末現在、SIB事業を含むPFS事業全体）

○76件のＰＦＳ事業が実施されており、約７割の50件が医療・健康、介護分野である。
○ＳＩＢ事業は10件実施されている。
○68団体がＰＦＳを活用し、そのうち、54団体がアクションプランに定める重点３分野（医療・健康、介護、再犯防止）においてＰＦＳを活用している。



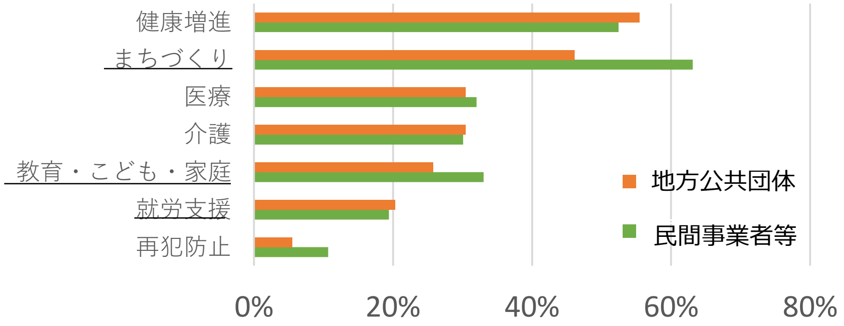


今後の方向性

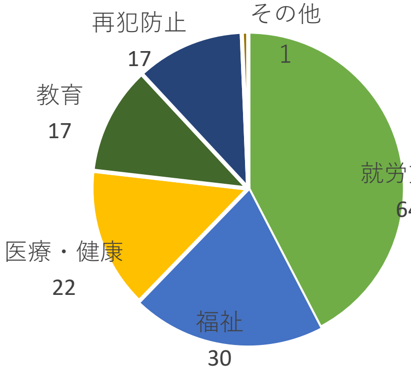
新たな分野への拡大

○ＰＦＳのコンセプトは幅広い社会的課題の解決に適用可能
○成果指標の明確化を行いながら、官民双方のニーズを踏まえて分野の拡大に取り組む。

ＰＦＳ活用を期待できる／活用したいと思う事業分野ごとの団体の割合※1
（地方公共団体=128:民間事業者等＝103 ）



海外のSIB事業の分野別件数（151件）



（出所）Impact Bond Global Database (SOCIAL FINANCE) ほか各種公表資料を基に作成

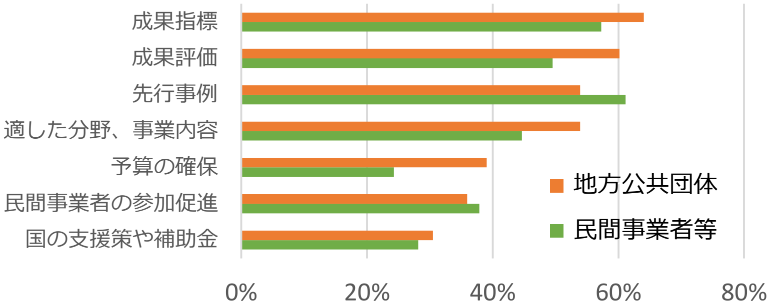
ＰＦＳ事業実施に際しての課題の解消

○個別案件への支援に加えて、先行事例で得られた知見等を踏まえ、必要なデータや参考となるエビデンスの収集、提供に取り組む。

自由記述意見にて記載された課題認識※2

- アウトカム指標の設定能力の向上が、成果連動発注において重要であると、あらためて感じた。これは、「～の対策」、「～の実施」をお題目にしてきた行政にとっては不得手であるため、鍛える必要がある。（行政）
- 様々な地域的課題に取り組んでいることで、今後はさらに現れる成果が求められていく。目標達成と成果の判断が難しいと感じている。（各種団体・NPO法人）
- ロジックモデル組成時や成果指標の設定の際の専門的知識を有したアドバイザーの派遣などの支援があるとPFS事業の実施につながりやすいかと感じる。（行政）

プラットフォームでの取扱いを希望するテーマごとの団体の割合※3
（地方公共団体=128:民間事業者等＝103 ）



※１～３（出所）PFS官民連携プラットフォームの設立時に開催した「ＰＦＳ／ＳＩＢ推進シンポジウム」（令和３年７月２日）におけるアンケートから作成

事業例①大腸がん検診・精密検査受診率向上事業（東京都八王子市）

社会的課題	様々な受診勧奨を実施しているものの、未受診、不定期受診者層への対策が課題。
事業目標	・大腸がんの早期発見・早期治療による市民の健康寿命の延伸 ・市民と行政双方にとって、医療費負担の抑制
事業対象者	八王子市国民健康保険被保険者で、前年度大腸がん検診未受診者（約6.5万人）のうち、サービス提供者がAI を活用し、受診確率の高い1.2万人を抽出。（市と協議し決定）
成果指標 【目標値】	①大腸がん検診受診率【19%】 ②精密検査受診率【87%】 ③早期がん発見者数【11 人】
委託費	0～9,762 千円
事業期間	3年間（平成29年度～令和元年度）
受託者	株式会社キャンサースキャン
ＰＦＳ 事業効果	約39,144千円 （医療費適正化効果）

オーダーメードの勧奨通知の例

（出所）
八王子医療保険部成人健診課作成
ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)導入モデル 最終報告書 【概要版】

事業例②介護予防「あ・し・た」プロジェクト（大阪府堺市）

社会的課題	要介護認定率が国や大阪府の平均値よりも高く、特に軽度者の割合が高い
事業目標	・要介護状態ではない高齢者の介護予防・自立支援を行うことにより、高齢者の生活の質を向上させる。 ・介護給付費の適正化を図る
事業対象者	市内在住の概ね65 歳以上の高齢者のうち、主に要介護認定を受けていない人（普段介護予防の取組を行っていない、または介護予防の取組に無関心な人が望ましい）
成果指標【目標値】	①事業参加者総数【4,000 人】 ②継続参加人数【500 人】 ③要介護状態進行遅延人数【500 人】
委託費	17,719 千円～ 44,297 千円 ※別途、効果検証委託費：10,000 千円
事業期間	３年間（令和元年度～令和３年度） ※新型コロナウイルスの影響により 令和元年度～令和４年度の４年間に延長
受託者	阪急阪神ホールディングス・ライフデザイン阪急阪神事業グループ
ＰＦＳ事業効果	約118,840千円（介護給付費適正化効果）

提供プログラム例

男・本気のコーヒー教室

自分にとっての一杯を探求しよう

コーヒーの世界をどんどん深めていく講座。まずは、原産地を知るところから始まり、基本となるハンドドリップの技術を身に着けます。さらに、抽出方法によって味が変わることを理解、自分の好みの味を知りそれを再現できるようにトレーニング！豆の焙煎方法と風味の関係、ミルクやお菓子とのペアリングも学びます。
皆さん休講中も、近所の喫茶店に豆を買いに行ってみたり、コンビニのコーヒーを飲み比べてみたり、身近なところでの探求を続けておられるようです。ぜひ自分に合った続けられる手段を見つけてくださいね。美味しいコーヒーは、それを一緒に飲む家族や地域の方々との縁を豊かにしてくれるはずです。

コーヒーを淹れていて、一番不安に思われるのは「これで合ってるのかどうか」だと思います。上手くできたかどうかはコーヒーの後味に現れてきます。
後味がすっきりとしていて、コーヒーの香りが長く続くようでしたら大成功です！
また、毎回同じ粉量・湯量にするのではなく、少し減らしたり増やしたりすることで意図的に「濃い・薄い」を感じることもおすすめです。
上野真人さん（LANDMADE／焙煎士）

（出所）
堺市ホームページ内「介護予防「あ・し・た」プロジェクト」
堺サンドイッチキャンパス通信vol.1